

27年度地方局予算の概要

【東予地域農業チーム力発揮事業費 1,050千円（26～28年度）】〔継続〕

東予地域における人や農地に関する課題を解決し、地域農業の振興を図るため、県・市・JAがチーム力を発揮し、独自の連携事業を実施する。

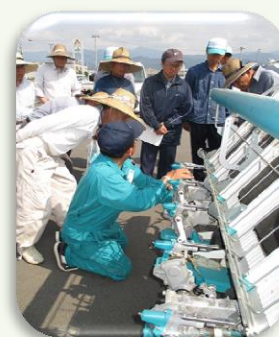
1 事業主体 周桑地域農業チーム力発揮推進協議会(仮称)
(構成員：県、西条市、西条市農業委員会、JA周桑、JA東予園芸)

2 事業内容

(1) 担い手の確保・育成対策(企業退職者等の就農支援)
企業退職者等の就農支援を行うほか、新規就農者のセミナーや農業機械のオペレーターを養成し、即戦力となる担い手の確保・育成に取り組む。

(2) 地域・集落の振興対策(集落営農組織の経営基盤強化支援)
道前平野の国営ほ場整備事業の導入や、国施策の転換に対応した、集落営農組織の経営・農地・人材などの将来ビジョンの策定支援や地域農業をけん引するトップリーダーを育成する。

(3) 農家支援の充実対策(農業経営のIT化推進)
県・市・JAの技術、経営、市況、気象等の情報を一元化し、農業者への情報発信や農業者からの相談に対応できる双方向情報システムを検討する。



【石鎚黒茶産地化支援事業費 600千円（27～29年度）】〔新規〕

西条市小松町石鎚地区に伝わる「石鎚黒茶」を新たな地域特産品として産地化を図るため、県、産業技術研究所、西条市、愛媛大学等が連携・協力して、統一した基準づくりや製造者の組織化などに取り組む。

1 石鎚黒茶産地化支援事業

(1) 地域遺産としての石鎚黒茶の保存・伝承支援

- ・伝統的製造技術の調査、標準化
- ・由来と歴史の調査

(2) 石鎚黒茶の特産化に向けた基準づくり支援

- ・品質基準の統一
- ・製造手法の統一

(3) 製造者の組織化支援

(4) 専用茶畑の確保支援



【たまみ産地化推進事業費 647千円（25～27年度）】〔継続〕

しまなみ地域で栽培が始められている「たまみ」は、2月に販売できる温州みかんタイプの中晩柑として期待されている品種であるため、生産技術等の実証と販売方針等の検討を行い、しまなみ地域全体への普及を図るとともに、多様な品種のかんきつを有する産地として活性化を図る。

- 1 産地化対策検討会等の開催
生産技術や直販等の販売戦略等を検討し、産地化に向けての意識統一を図る。
 - (1) 産地化対策検討会
 - (2) 販売戦略検討会
 - (3) 販売マニュアル作成
- 2 生産技術の実証
栽培技術の確立を図るための現地実証を3年間実施し、農家へ技術を普及する。
 - (1) 安定生産技術対策
 - (2) 寒害、褪色、防鳥対策
 - (3) 栽培マニュアル作成



【しまのわ今治地方活性化推進事業費 4,880千円（27～29年度）】〔新規〕

「瀬戸内しまのわ2014」を一過性に終わらせることなく、地域のポテンシャルを活かし、地域住民らが活動を継続できるようフォローアップを行うとともに、「サイクリストの聖地=しまなみ」の定着化に向けたサイクリング振興により、地元への経済効果の発現を図る。

- 1 しまのわ今治地方活性化推進協議会の設立
「瀬戸内しまのわ2014」で出来上がった輪を、さらに広げるための組織として**地元関係団体や県、今治市、上島町を中心に**設立し、各種事業の展開、地域住民の活動支援、広報・誘客促進等を実施し、地域の活性化を図る。
- 2 しまのわ今治地方活性化推進協議会事業
 - (1) 観光プログラム造成支援事業
 - ・しまなみ滞在型サイクリング拡大事業の実施
 - ・しまのわ2014ブラッシュアップ事業の実施
 - (2) 民間企画イベント支援事業
 - ・専門家による体験・観光プログラムのブラッシュアップ、ネットワークの構築
 - ・交流会の実施
 - (3) 広報・誘客促進事業
 - ・フェイスブックの運営等
 - ・パンフレットの作成
 - ・観光プロモーション活動



【東予の誇れる産業遺産活用促進事業費 4,589千円（26～28年度）】〔継続〕

東予地域4市1町に点在している別子銅山関連遺産群をはじめとする産業遺産（第一次、第二次、第三次産業等）について、市町、企業、NPO等と連携しながら、かけがえのない文化的資源として地域に根付かせ、郷土文化に対するアイデンティティの醸成を図るとともに、まちづくりや観光振興、交流人口の拡大を図る。

- 1 「東予の誇れる産業遺産（たから）」保存・活用協議会等の開催
別子銅山関連遺産群をはじめとする産業遺産について、管内市町等と連携し、地域活性化資源として保存及び活用方策等を協議。
- 2 「東予の誇れる産業遺産（たから）」ガイドブックの作成
東予管内に点在する産業遺産（第一次、第二次、第三次産業等）について、活用可能性の観点から調査したデータベースの情報を基に、観光資源等も盛り込んだガイドブックを作成。観光はもとより、学習教材としても活用。
- 3 「TOYO産業遺産マイスター」養成事業
観光ガイドや修学旅行等での地域紹介、出前講座での講師等を養成。
- 4 「サイクリングと融合」した「ヘリテージツーリズム」魅力発信強化事業
 - (1) 「別子銅山ファミリーサイクリング」游学ラリーの開催
 - (2) 「東予の誇れる産業遺産（たから）」東予管内地域交流巡回パネル展及びサイクリングで巡るフィールドワークの開催
- 5 「東予の誇れる産業遺産（たから）」スタディツアーの実施
小・中学校教員向けスタディツアーの実施



【東予まるごと山の魅力ブランド化事業費 3,162千円（26～28年度）】〔継続〕

東予**東部**には魅力的な山々があるが、観光誘客に関しては未だ発展途上にあることから、関係**市**等と連携し、東予**東部**の山岳を**まるごと魅力的な**観光資源としてブランド化の推進に努め、観光振興はもとより、総合的に地域の活性化を図る。

- 1 山の魅力でおもてなしチームの**運営**
関係市・団体等で構成する**チームの活動を継続し、市の枠を超えた広域連携体制の構築**を図る。
 - (1) ワークショップの開催
- 2 東予まるごと山の魅力ブランド化の推進
モニターツアーや各種広報を実施し、東予**東部**の山岳を**まるごと魅力的な観光資源としてブランド化を推進することにより、入込客増大**を図る。
 - (1) モニターツアーの実施
 - (2) Web広告やPR用リーフレットの作成など各種広報の実施
- 3 東予に連なる山のファンの創出
最新情報をスピーディーに継続発信することにより、山のファンの創出に努める。
 - (1) 東予の山をまるごと楽しむ総合Webサイトの運営
 - (2) フェイスブックの運営



【地域・企業連携南海トラフ地震減災対策事業費 783千円（27～28年度）】〔新規〕

東予地域は南海トラフ地震で甚大な被害が想定されるが、南海トラフ特別措置法において特別強化地域に指定されず、効果的なソフト対策が課題となっている。これまで、地域と企業で応援協定を締結し情報伝達訓練等を実施してきたが、これを実効性のある訓練に拡充し、モデル事業として普及させるなど被害の軽減に努める。

- 1 「災害に強いまちづくり活動」検討会の設置
応援協定締結地域等において想定されている被害の特性に合った実効性のある訓練内容の検討や、訓練後の検証を行い、今後の連携等について協議。
(27年度予定地区：西条市玉津地区、今治市菊間地区)
- 2 想定されている被害の特性にあった実効性のある訓練の実施
上記検討会で計画した訓練を、地域と企業合同による住民参加型で実施。
- 3 地域防災力向上応援企業の認証
「地域防災力向上応援企業認証制度」を創設し、計画に基づく訓練の実現に貢献した企業に対して認定証を授与。
- 4 事業活動報告書の作成・配布
本事業で取り組んだ活動内容を報告書として作成し、配布。

